

(仮称) 柏市子ども家庭総合支援センターに関する住民説明会 質疑応答 (2月19日開催分)

※発言内容は要約しています

Q 子ども家庭総合支援センターの開設にはおよそ賛成です。

ただ、不登校の子どもなどが増えている中、せっかく箱物を作っても機能しないということがありますので、マンパワーの確保がきちんとされるのか、方針についてお聞かせください。

A 人材確保については、児童相談所の設置を決めて以来、(必要な人員を)平準化して毎年10人程度ずつ採用する計画をたて確保しているところです。ただ、採用にあたっては、船橋市など他市区でも児童相談所開設を予定しているほか、都道府県でも職員の増員を図っており、人材確保は厳しい状況にあることから、専門学校や資格者団体への市のPR活動に努めているところです。

また、教育委員会や保健所のほか、保育園や幼稚園、学校などの各現場、地域との連携が重要となりますので、連携体制の強化も図りながら取り組んでいきます。

Q 整備の総工事費(建築費)は未定でしょうか?次回以降の説明会等で説明がありますか?

A 建築費については、施設規模等が確定していないため、現時点ではお示しできませんが、決まった段階で情報提供していきます。

Q 民生委員・児童委員をやっているが、高齢者が主となっており、児童の不登校や虐待などの情報はほとんど入ってこないため、地域や住民の力の活用と言ってもどのように参画していければよいかわからない面があります。不登校や虐待に対して、地域がどのように関わり、子どもの状況をどう把握していくかは重要だと思うが、どのように考えていますか?

A 子どもの健全育成のためには、家庭と学校の2つが大きな要素となりますが、それに地域がどう関わっていくかというのは、これからの大きな課題の1つであります。全国的には、コミュニティスクールという地域の方と協力しながら子どもへの支援・見守りを行うといった取組が既に各学校単位で始まっており、その中で、地域にあった形のコーディネートも進んでおります。このような取組を含めて、地域の特色を活かしながら、子どもたちへよい環境が提供できるような施策を、皆様のご意見もいただきながら進めていきます。

意 グラウンドで休日に子どもたちが活発に活動しているほか、高齢者もグラウンドゴルフなどでグラウンドを利用しているので、できるだけ広めにグラウンドを残せればと思うので、青少年センターを取壊して複合化する案「B案」が適当ではないかと思います。

Q 北庚塚緑地の活用方法については、駐車場以外の活用も含めて、敷地全体の活用のなかで考えた方がよいのではないですか?

A 公園遊具等の設置も含めて、建物と一体的に敷地全体の整備について検討していきます。

Q 児童相談所と一体化することで、はぐはぐひろば（地域子育て支援拠点）の利用者の皆さんは、気軽に利用しづらくなるのではないかと心配しています。施設内で児童相談所とはぐはぐひろばの場所を1階と2階で分けるなどの配慮は検討していますか？

A 子ども家庭総合支援センターは、児童相談所だけでなく、虐待の未然防止や子育て支援にも取り組む施設であるため、はぐはぐひろば等が利用しにくならないように、プライバシーや安全面なども考慮しながら、検討していきます。

意 新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえて、次回以降、オンラインでの開催も検討してください。

《表示》

Q = 質問 **A** = 回答 **意** = 住民意見